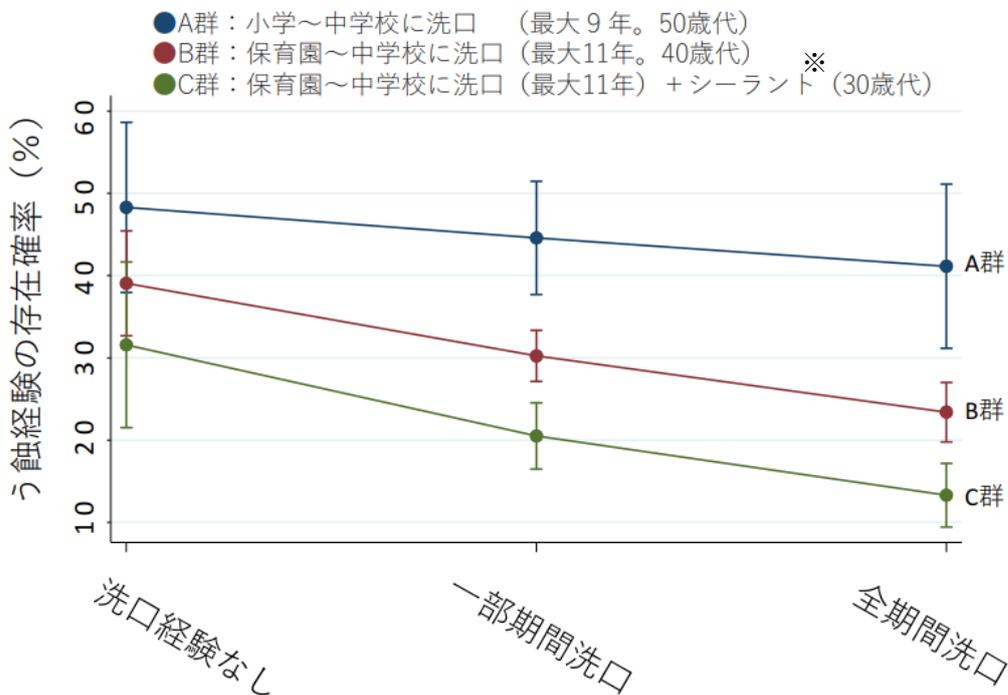


「フッ化物洗口について」

～その② 予防効果～



フッ化物洗口の実施により、およそ30～80%のう蝕（むし歯）予防効果があり、その効果は洗口終了後も持続するといわれています。保育園・幼稚園の頃（ぶくぶくうがいができるようになる頃）からフッ化物洗口を開始し、長期間継続することが大切です。



集団フッ化物洗口を中心としたう蝕予防プログラムによる、う蝕予防効果の検証：保育園・幼稚園や学校での洗口実施期間が長い人ほど成人期（A群：50歳代、B群：40歳代、C群：30歳代）のう蝕が少ない。（出典：厚生労働省フッ化物洗口マニュアル（2022年版））

※シーラントとは、シーラント材で歯の溝を物理的に封鎖してう蝕（むし歯）を予防する方法です。



大人になってもフッ化物洗口を行うことで、根面う蝕（歯の根の部分のむし歯）等を予防する効果があります。